

## プロジェクトに関係した研究成果

### サプライチェーン・マネジメントの最適化に関する研究（代表者：佐藤祐司）

Yuji Sato, Ying Kei Tse and Kim Hua Tan (2018), “Comparative study on Supply Disruption Risk: Cases between Developed and Developing Countries” Pre-prints of the Twentieth International Working Seminar on Production Economics.

### トヨタ自動車研究（主査：猿田正機）

猿田正機編著『トヨタの躍進と人事労務管理——「日本的経営」とその限界——』税務経理協会、2016年

猿田正機『トヨタ研究からみえてくる 福祉国家スウェーデンの社会政策』ミネルヴァ書房、2017年

猿田正機編著『安倍政権下のトヨタ自動車』（税務経理協会、2018年3月出版予定）

杉山 直「トヨタの技能系新賃金制度」『三重法経』第148号、2016年

杉山 直「トヨタの一時金—労働組合の要求を中心にして—」（猿田編著、2016）

杉山 直「トヨタの技能系新賃金制度」（猿田編著、2018）

浅野和也「トヨタ労働組合における『働き方』の認識」（猿田編著、2016）

浅野和也「トヨタの『ダイバーシティ』推進」（猿田編著、2018）

宋艶荅「トヨタ関連下請企業における雇用形態—外国人技能実習生を中心に—」（猿田編著、2016）

宋 艶荅「トヨタ関連下請企業における雇用実態—外国人技能実習生を中心として—」『トヨタの躍進と人事労務管理』税務経理協会 2016年。

宋 艶荅「中国企業の女性管理職・役員の登用」（宋艶荅 第1節（1）、（2）、（3）、第2節、第3節；石錚 第1節（4）『活躍する女性会社役員の国際比較』ミネルヴァ書房、2016年。

宋艶荅「中小製造メーカーの海外進出に関する一考察—海外子会社の人事施策と現地協力メーカーの養成を焦点に—」（猿田編著、2018）

桜井善行「高齢社会と『企業福祉』の役割—トヨタを事例に—」（猿田編著、2016）

桜井善行「愛知・西三河における学校教育の現状—大企業の存在が公教育に与えた影響」『中京企業研究No.39』、2017年

桜井善行「社会がめざす人間像と企業が目指す人間像—安倍教育再生とトヨタのめざす教育を事例に—」（猿田編著、2018）

浅生卯一「研究ノート：スウェーデンの経験から何を学ぶか—ボルボ自動車・ウッデバラ工場の組み立てシステム—」『中京企業研究No.40』、2018年

浅生卯一「日系外国人労働者の雇用管理と労働組合—自動車関連製造業の場合—」（猿田編著、2018）

### 「地域経済と中小企業—地域資源とまちおこし—」（主査：寺岡 寛）業績一覧

「地域経済活性化策と地域文化政策の連関性—公立美術館と地域イメージ—」『中京経営研究』Vol.13、2018年2月（掲載予定）

「地域資源と地域経済活性化—ミュージアム化される地域と経済活性化の課題—」『中京企業研究』第39号（2018年2月掲載予定）

『ストック文化経済論—フロー文化からの転換—』（中京大学経営学部研究双書第43号）

### 「市場における再帰性の研究」（主査：中西真知子）

Machiko Nakanishi (2017) 「Japanese Reflexivity and the Japanese market」『中京経営研究』26巻：71-80

Lash, S. and Urry, J., (1994)., *Economies of Signs and Space* の翻訳（2018）安達智史監訳（中西真知子、鳥越信吾他訳）『フローと再帰性の社会学——記号と空間の経済』晃洋書房 予定。

中西真知子（2018）「日本の再帰性と日本の市場」『政策科学』25-3 予定。

———（2018）「笑顔と会話の市場」『月刊なごや』2月号 予定。

### 知識共有と動機（主査：向日恒喜）

向日恒喜、「職場における自己価値の随伴性が組織内自尊感情と知識共有行動に与える影響」、『産業・組織心理学会第33回大会発表論文集』、189～192ページ、2017年

向日恒喜、「職場における自尊源が組織特性と知識提供行動との関係に与える影響」、『第74回日本情報経営学会全国大会予稿集』、315～318ページ、2017年

向日恒喜、「職場における自尊感情と知識提供動機：自己価値の随伴性と有機的統合理論による検討」『日本社会心理学会 第58回大会発表論文集』、321ページ、2017年